

図書館だより

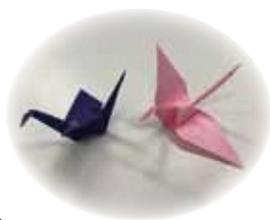
91

ご存じですか？

原爆小文庫

今から半世紀近く前、旧下保谷図書館で始まり、
ひばりが丘図書館で受け継がれてきた「原爆小文庫」。
この小さな文庫が、次世代に平和の尊さを伝える場所
であり続けられるよう、2023年夏
新しく生まれ変わりました。

書庫に保管していた貴重な資料も
閲覧しやすくなりました。
写真は『ピカドン』の初版。



展示機能を拡大した新しい書架。市井の人々の被ばく体験を中心に、
多様な形態の資料が並びます。

体験記や原爆文学、マンガなど、資料の内容や形態に応じて8つの
分類から検索可能。

原爆小文庫の由来

1976年、当時市民だった
原爆文献資料研究家の長岡弘芳氏が
「多くの人に原爆のことを知ってもらいたい」
との思いから、全国から集めた原爆関係の資料を
図書館に寄贈されたのが始まりです。

文庫開設当時から続けて
いる原爆関係の新聞記事
のスクラップブック。
156冊が閲覧可能。

平和への願いを込めて…

現在、新しくなった原爆小文庫の棚に「折り鶴を作ろう」コーナーを設置しています。
平和への願いが届きますように…

図書館で用意した折り紙で
来館の方が作ってくださった鶴



詳しくは、
図書館HPを
ご覧ください。



★声の広報をお届けしています。

お問い合わせの方でご希望の方がいらっしゃいましたら、谷戸図書館(Tel.042-421-4545)へお問合せを。



西東京市子ども電子図書館 始まりました ※ご利用に年齢制限はありません。

西東京市図書館の新しいサービスとして始まった子ども電子図書館。図書館になじみがなくても、ここから気軽に読書を始めてもらえるよう、市立小・中学校に通うみなさんには専用の電子図書館利用カードを配布しました。始まって間もないですが、たくさん利用されている様子が見えます。一部の電子書籍は、貸出中でも「試し読み」ボタンで冒頭のページを読むことができますので、借りる際にぜひご活用ください。

かんたん、便利な機能がたくさん！



どこでも・24時間

好きな場所からいつでも「読む」「借りる」「予約する」ことができます。



返却忘れの心配なし

返却日がきたら自動で返却されるので、期日を気にせず読書を楽しめます。



児童書読み放題パック

貸出・予約はそれぞれ2冊ですが、同時に何人でも読むことができる読み放題もあります。

ご利用いただける方

- 西東京市に在住・在学・在勤で有効期限内の図書館利用カードをお持ちの方

※カードの有効期限が切れている方、西東京市に在勤あるいは在学中でも登録時には伝えていない方は、カウンターでご相談ください。



▲
使い方やルールなど
詳細はこちら



思い立った時に本を読みたい、図書館や本屋さんへ行く前にちょっとだけ読んでみたい、中学生になったら部活も習い事も忙しくて図書館へ行けない…。そんなご要望に応えられるよう、今後も小・中学生向けの本を中心に、さまざまなジャンルの電子書籍が読めるようになる予定です。



がんばったね！一日図書館員



例年大人気のイベント「一日図書館員」。図書館職員と同じ「としょかん」というロゴの入ったエプロンをつけて仕事をします。今年度も多くの子どもたちから申し込みがあり、全館で小学生 63 名・中学生 5 名が参加しました。

当日、子どもたちは本の返却や配架、除籍、装備（本に透明の保護カバーをかける作業）など様々な仕事を体験し、普段は見ることのできない閉架書庫・事務室など図書館の裏側に入ることもできました。子どもたちの顔は真剣そのもの。大変な仕事も終始笑顔で体験していました。

子どもたちからは「除籍の作業が楽しかった」「返ってきた本を正しく並べるのは意外と難しかった」「図書館には想像していたよりたくさんの仕事があり、びっくりした」などの感想が寄せられました。



YA(ヤングアダルト)向けワークショップ

『「伝わる」文章術、伝授します!!』を開催しました

令和5年8月8日(火)午後1時から ひばりが丘図書館 講座室
講師 小川こころさん(元新聞記者・文筆家・ライター・文章教室講師)

文章が苦手な人でもスラスラ書ける、SNS の投稿にも活かせる文章術を伝授していただきました！

会場に集まってくれたのは、11歳から15歳までのみなさん。今回のワークショップでは、各自お気に入りの一冊を持ち寄り、ブックレビューを書きました。



～参加者感想(一部抜粋)～

- ・先生がやさしくて、分かりやすい説明をしてくれたので、スラスラ文を書けた。
- ・文章を書くのは得意ではなかったため、参加してみてよかった。
- ・レビューを書くときのコツを知ることができて、文章を書くのがとても楽しかった。



詳しくは図書館ホームページをご覧ください

マルチメディアデイジーでのおはなし会 &リーディングトラッカーをつくらう

令和5年8月6日(日) ひばりが丘図書館 講座室

※「マルチメディアデイジー」のおはなし会イベントを初めて開催しました。子どもたちは「マルチメディアデイジー」の機能に興味津々。パソコン操作に夢中の様子でした。太鼓などの音も一緒に再生される『トラ猫ばやし』のおはなしは、子どもだけでなくお母さんやお父さんにも楽しんでいただけたようです。



▲「マルチメディアデイジー」を体験する様子

また、文の上下や左右の行を隠すことで、1行に集中し見やすくなる「リーディングトラッカー（読書補助具）」を、クリアファイルとマスキングテープで手作りしました。



▶「リーディングトラッカー」づくりの様子

※マルチメディアデイジー…パソコン等を使って、音声と一緒に文字や絵を再生するデジタル図書。文字の大きさや色を変更することができ、活字による読書が困難な方でも読書が楽しめるように工夫されています。

夏休み自由研究応援企画！「自分だけの『誕生日新聞』をつくらう」

令和5年8月の毎週水曜日 午後1時から3時

昨年好評だった夏休みイベントを今年も開催！自分の誕生日(または次の日)の新聞記事を検索して、好きな記事を印刷！世界にひとつだけのオリジナル新聞が作れるイベントです。

参加者はオンラインデータベース[※]「朝日新聞クロスサーチ」を使って、自分の誕生日(または次の日)の新聞記事を検索。自分の生まれた日にどんな出来事があったのか、興味津々でたくさんの記事を探していました。



「昔の記事も簡単に見ることができて便利!」「夏休みの宿題だけでなく、思い出作りにもなった」と参加者の皆さんから、感想をいただきました。



※朝日新聞クロスサーチ…明治12年の朝日新聞創刊号から今日までの新聞記事や広告を検索できる、オンライン新聞記事データベースです。

新聞のデータベースは、特定の日付の新聞を見る以外にも、出来事やキーワードで検索するなど、様々な使い方が出来ます。イベントの時以外でも随時閲覧が可能ですので、調べもの際には、是非オンラインデータベースを活用してみてください。



詳しいご利用方法につきましては、図書館ホームページのデータベース専用席のご案内をご覧ください。

▲データベース専用席の詳細・利用可能データベース一覧はこちら



関東大震災と東京

講師 ^{いしい まさみ} 石井 正己さん 西東京市在住
東京学芸大学名誉教授

令和5年6月18日(日) 柳沢公民館 視聴覚室

関東大震災からちょうど100年を迎える今年、西東京市在住の国文学者である石井正己さんを講師とした講演会を行いました。

関東大震災当時の東京の都市部から多摩地域の様子を、残された地図や文章から読み解く内容となっており、参加者からも非常に興味深い講演であったと好評でした。

図書館ホームページでは、当日の写真なども併せて掲載しております。ぜひご覧ください。



とびだせ 田無・保谷の村 —江戸時代の生活とつながる人々—

講師 ^{ぎょうだ たけあき} 行田 健晃さん 成蹊中学・高等学校教諭

令和5年8月19日(土) 田無公民館 視聴覚室

図書館では、子どもたちにも地域の歴史を知ってほしいという思いから「子どものための地域を知る講演会」を開催しています。

今年度も行田健晃さんを“案内役”に、江戸時代の田無村・保谷村について楽しく学びました。西東京市に残る様々な記録を通して、いきいきとした農民の生活が紹介され、参加者からは「とっても分かりやすく、楽しい講演会だった」「多くの子どもたちに聞かせてあげたい」などの声をいただきました。



令和4年度の実績報告 (令和5年3月31日現在)

詳細については「令和4年度西東京市図書館事業概要」をご覧ください。図書館ホームページにも掲載しています。

1 基本指標

※市人口は、205,943人(令和5年3月31日現在)

① 市民一人当たりの蔵書(図書)冊数(蔵書冊数 ÷ 市人口)	3.79冊
② 登録率(市内在住個人登録者数 ÷ 市人口)	14.92%
③ 一日平均貸出数(各図書館の一日平均の合計)	6,725冊
④ 蔵書回転率(個人図書貸出数 ÷ 蔵書冊数)	2.35回
⑤ 市民一人当たりの貸出数(個人貸出数 ÷ 市人口)	9.54冊
⑥ 登録者一人当たりの貸出数(個人貸出数 ÷ 個人登録者数)	50.5冊

※資料形態を問わず資料単位は「冊」で表記する。

2 登録者数

(人)

西東京市	30,735
広域圏(7自治体)	4,101
その他	4,069
合計	38,905

※登録者数は有効登録者数。

登録者のうち、当該年度(4月から翌年3月までの1年間)に貸出回数が1回以上ある利用者の数

3 蔵書数

資料種別	所蔵数	
図書	一般図書(冊)	487,515
	児童図書(冊)	201,720
	地域・行政資料(点)	91,975
雑誌(タイトル数)	822	
CD(点)	21,117	

4 貸出数

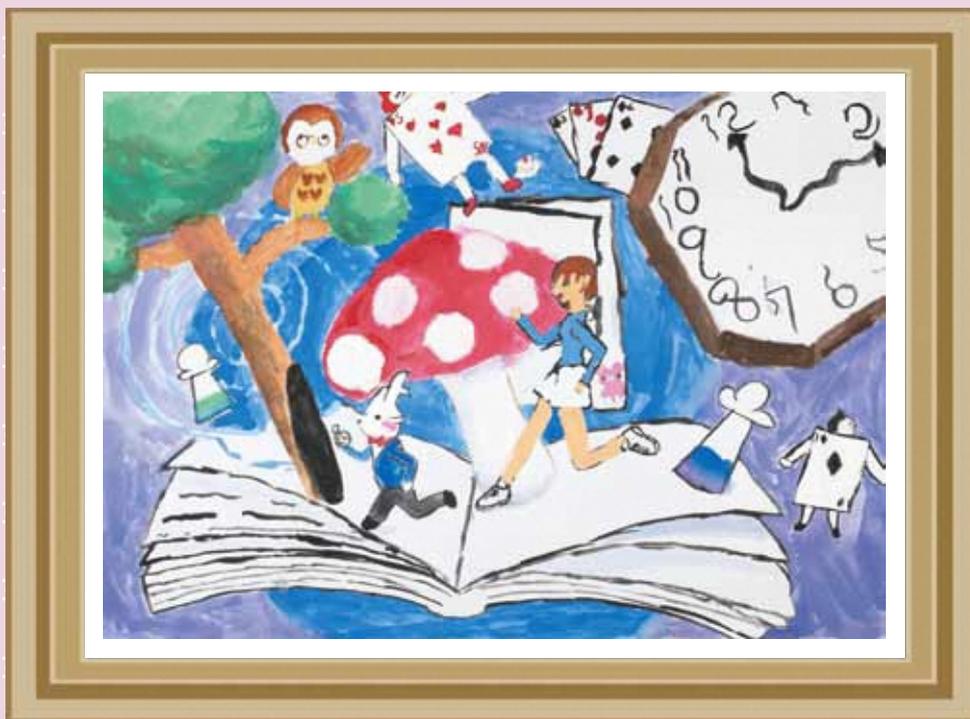
資料種別	貸出数
一般図書(冊)	1,231,381
児童図書(冊)	608,363
雑誌(冊)	85,498
CD(点)	39,827
合計	1,965,069

5 予約数

(件)

予約方法	予約数
カウンター	45,801
館内OPAC	30,817
WebOPAC	647,460
未所蔵予約	26,239
合計	750,317

※館内OPACとは、館内利用者用検索機のこと



不思議の国の世界と不思議くま

保谷小学校 6年

「くわたしと図書館」の原稿を書いてみませんか」図書館だよりはたまに見ていた
ので、それが読者の書くコーナーであるこ
とはわかった。「いいですよ」と二つ返事。
*音訳の会でお世話になっている担当の方
にお声かけいただいたので、私でいいんです
かと思いつつ…。文章を書くのは得意でも
何でもない。むしろ小学生の頃
に一番苦手な授業は作文だった。

こんな時に頼りになるのが図書館だ。携帯電話で『エッセイ
の書き方』を検索し、参考になり
そうな本を見つけ図書館に即
座に予約。同じ作者のエッセイ
や知っている作家のエッセイも
面白そうだから何冊か予約した。まだ何も
書いてないのに予約ただけで安堵する。

私は気になる事柄があると、すぐに図書館
に予約する。LGBTQ、エシカル、プラ
スチック汚染、肌断食、断捨離、コミュニ
ケーション、はたまた話題のホラー小説、
子育てに中学受験、新聞で紹介されて気

なった書籍などなど。

翌日は、たまたま音訳の録音があったの
で図書館へ。録音作業終了後に携帯電話の
メールを見ると「ご予約の資料が用意でき
ました」とある。5冊の本を借りて帰り、
早速エッセイの書き方について読み始める。

今回のように予約してすぐ翌日には用意
できましたとメールが来ること
もあれば、ベストセラーなどは
予約してから3～4カ月後に連
絡が来ることもある。忘れた頃
に本が手元に来るのもまた面白
い。以前は図書館をほとんど利
用しなかったのだが、4年前位
から利用するようになり、今で

は私の生活に欠かせない。この度は、図書
館が様々な本との出会いと新たなチャレ
ンジの機会を与えてくれていることを改めて
実感することとなった。

利用者エッセイ
わたしと
図書館
鹿嶋 亜希

※音訳の会…視覚障害等の方のために、本や広報物など
の文字情報を音声にする活動をおこなっている団体